ありのままの感情に向きあう授業
わたしのリアル

すなおな
きもちを
まんなかに。

目次

目次 —— 03

私たちの想い —— 04

福祉教育について —— 06

プログラム例紹介 —— 09

01 社会のリアルと私 —— 10

02 当事者のリアル・福祉のリアル — 12

03 障害のある方の表現活動 —— 14

今年度の実績 —— 16

満足度 —— 20

参加者の声 —— 21

最後に —— 22

実施までの流れ・お問合わせ —— 23

すなおな
きもちを
まんなかに。

多様な人や社会の
さまざまな「リアル」と出会い、
そのとき湧き出た感情を大切にする。

そこには、「こう思っちゃいけない」や、
「こう思わねばならない」はなく。
答えを押し付けられることも、
思いを抑えることもありません。

誰かのリアルな人生から、
ありのままの「わたし」をのぞいてみよう。
ポジティブな感情も、ネガティブな感情も、
まずはいったん受け入れて。
なんならすこし、おもしろがってみてもいい。

「こんな自分もいいんだよ」と肯定し、
安心しながら自分や他者と向き合うこと。

その先にこそ、本当の意味での
「わたしとして生きていく」という、
リアルに出会える瞬間があると思うのです。

生徒のなかのいろんな「わたし」が、
のびのび心を動かせる場所へ。
そうなれることを、願っています。

ありのままの感情に向きあう授業

わたしのリアル

福祉教育は、全国の学校や自治体、福祉施設などでさまざまな取り組みが行われています。福祉教育というと、車いすやアイマスク体験のイメージが濃いかもしれません。一方で、障がいの特性や生きづらさは人それぞれであり、社会全体が多様化するなかで、福祉教育プログラムも多様化していく必要があります。

ありのままの感情に向きあう授業「わたしのリアル」。ここでは、生徒たちが、多様な人や社会のさまざまな「リアル」と出会い、そのとき湧き出た自分の「リアル」な感情と向きあうことを大切にする授業です。自分のありのままの感情を、まずは生徒たち自身が受け止め、受け入れること。

そうしてはじめて、「生きること」や「共に生きるということ」。そして、「自分と社会との関わり」について、生徒自身が自分ごととして考える力が育まれていくと思うのです。そんな新しい時代の福祉教育「わたしのリアル」を、ひとりでも多くの生徒たちに届けていきたいと考えています。

この授業で、いっしょに大切にしたいこと

1 リアルな出会いをつくること

障がいのある方、高齢者等の当事者のリアルな生き方、社会のリアル、地域のリアル、暮らしのリアル、自分のリアルなど、本物との出会いを大切にします。

2 自分のリアルな感情を受け入れること

「リアル」にふれ、湧き出た“生徒のいかなる感情”も大切にします。
だから、大人たちの「こう思ってほしい」はそっとしまっておいてください。
まずはどんな意見も感情も肯定することが大事。

3 楽しむ力を育む授業であること

「そんなこと言っちゃいけない」や「そんなこと聞いちゃいけない」はいったんやめて、生徒たちの豊かな感情を楽しみ、多様な感情の捉え方を楽しみます。

自分を肯定し、安心しながら自分と他者と向きあえる環境。
その先に…

多様な他者を受け入れ、「わたし」と社会との良好な関係を築く。
生きる力と、ともに生きていく力を育みます。

プログラム事例紹介

ありのままの感情に向きあう授業「わたしのリアル」は、2024年度は全国15エリアにて、69校で延べ96回、7,281名の生徒に対して実施しました。これまでに実施したプログラムをピックアップし、参加した学生や先生の声とともにご紹介します。

PROGRAM
CASE 01
社会のリアルと私
社会福祉法人ゆうゆう理事長大原裕介氏による講話

PROGRAM
CASE 02
当事者のリアル・福祉のリアル

PROGRAM
CASE 03
障害のある方の表現活動
ワークショップ

PROGRAM

CASE 01

プログラムテーマ

社会のリアルと私

社会福祉法人ゆうゆう理事長大原裕介氏による講話

対象（学校名・学年）

札幌平岸高等学校 2年生・3年生（2回実施）

プログラム概要

令和6年5月7日（2年生）、9月3日（3年生）
14時15分ー15時5分　15時15ー16時5分（2時間）

プログラムのねらい

- 地域課題の解決や他業種とのコラボレーションなど、支援だけでない福祉のイメージを広げ、自身との繋がりに気付く
- 地域にある様々な課題を知り、どのように協働しながら解決しているのかを知る。
- 福祉の幅広い視点と考え方を通して、これからの人口減少社会、多様化する社会において自分の生き方、将来について考える

学生に与えた影響・変化

- 福祉＝介護、ネガティブなイメージから、農業、芸術、食等さまざまな分野と協働していることを理解し、福祉のイメージの変容につながった。
- 直接的支援だけでない、人と人とのつながりや誰かの味方になること、相手のできることに目を向ける福祉の考え方を、将来の進路が福祉分野ではない学生にも影響を与えた。

学生の声

その人の強みに目を向け、誰でも活躍できる社会をつくること／「できるところに目を向ける」「みんなと同じようにしなくていい」という言葉に感動しました。／実際の体験談で福祉の明るい部分を知ることができた。／福祉分野は自分にはあまり関係がないと思っていたけど講演を聞いて興味がわいた／保育士と合わせて活用できる職業を考えたくなりました。／自分が持っている視点というものが本当に狭いものなんだということがわかった。

PROGRAM

CASE 02

プログラムテーマ

当事者のリアル・福祉のリアル

対象（学校名・学年）

旭川龍谷高等学校 2年生

プログラムのねらい

- 障がいとともに生きてきた当事者のこれまでのリアルな半生、そのなかにおける福祉事業者との出会いと変化についての対話から、他者を理解する力を養い、自分自身と向き合うきっかけとする。
- 当事者との交流を通して、自身の暮らす地域や社会とのつながりの理解を深める。

学生に与えた影響・変化

- 当事者のリアルな話や、生徒からの「今幸せですか？」という質問に対して、満面の笑みで「幸せです！」と答える当事者の姿から、自身の生き方について考えるきっかけとなった。
- 支援者と当事者との関わり、支援者の関わりのスタンスを見て、「〜してあげる」というイメージから「ともに生きる」を考えるきっかけになった。

学生の声

福祉を知るだけではなく、私自身が生きやすくなるようなアドバイスや、いつになっても大切だなと感じることを教わり、ためになりました。色々な人がいるのが当たり前で、それぞれがのびのびと過ごせる社会をみんなでつくることが大切だと思いました。

先生の声

障害をもった方のお話を聞く機会はほとんどありません。中学生から今に至るまでの葛藤、人との関わりの話は真実だからこそ心に残るものでした。生徒も今後の人との関わりにおいてとても勉強になったと思います。

PROGRAM

CASE 03

プログラムテーマ

障害のある方の表現活動（ワークショップ）

対象（学校名・学年）

上越市立稲田小学校 5年生

プログラム概要

令和6年11月20日
10時30分－12時00分　13時55分－15時30分（2時間×2クラス）

プログラムのねらい

- 障害のある方の表現活動を通して、自分らしい生き方、自分の感情や考えを表現する方法に触れる。
- 障害当事者と一緒に芸術活動に参加し、障害への理解を深める。
- 丸とクネクネだけを用いて、答えのない自分だけの作品づくりにチャレンジしてもらう。

学生に与えた影響・変化

- 障害の有無にかかわらず自分の得意も苦手も含めて自分であり、芸術が自分を表現する方法の一つと理解を深めた。
- 目に見えない障害を持つ当事者との出会いから、誰もが自分らしく生きていくために相手を思いやることの視野が広がった。

学生の声

障害は目に見えない物もあり気付きにくいため誰にでも（どんな人でも）優しくしてあげたいと思った。／自分が納得する生き方がカッコイイ生き方というキーワード。

先生の声

小学校5年生にとって福祉教育はとても大切な教育だととらえていて、特に今日「目に見えにくい障害」ということで大変有意義な内容が含まれていたと感じます。発達障害の児童は統計上どのクラスにも8％程度は在籍しているので、どの人にとっても過ごしやすく、笑顔でいられることはお互いに社会の中で生きていく構成員としては大切な視点だと思います。障がいのある方と出会うことで子どもたちの学びが深まりました。生き生きとご活躍される姿を見て、子どもたちの視点も広がったように思います。本当にありがとうございました。また機会がありましたら、次回もぜひ授けたいと思います。

今年度の実績

社会福祉法人、社会福祉協議会、NPO法人や一般社団法人など、幅広い実施団体と連携し、小・中・高校生を対象に、社会科、総合的な学習の時間、探究の時間、等様々な科目・授業の時間を活用して「私のリアル」を実施しています。2024年度は全国15エリアにて、69校で延べ96回、7,281名の生徒に対して実施しました。

北海道

| 実施エリア | 実施団体 | 実施学校 | 実施テーマ |

社会福祉法人ゆうゆう https://yu-yu.or.jp/

北海道当別高等学校	社会のリアルとわたし
市立札幌平岸高等学校	社会のリアルとわたし（職業コラボレーション福祉×〇〇）
市立札幌開成中等教育学校	社会のリアルとわたし
和寒町立和寒中学校	社会のリアルとわたし（誰もが暮らしやすいまちづくり／認知症キッズサポーター養成講座）
和寒町立和寒小学校	社会のリアルとわたし（誰もが暮らしやすいまちづくり／認知症キッズサポーター養成講座）
北海道札幌西高等学校	キャリア探究学習（課題解決プログラム／持続可能なまちづくりとは）
北海道札幌国際情報高等学校	社会のリアルとわたし（ビジネスの観点からの福祉）
北海道登別明日中等教育学校	社会のリアルとわたし（福祉の観点からのSDGs、世界と日本・北海道とのかかわり）

岩手県

社会福祉法人みちのく大寿会 https://m-kujihirasou.jp/

洋野町立大野中学校	街歩きフィールドワーク・問題解決ワーク（校内・校外） 地域活性化団体とのイベント（イルミネーション・スカイランタン）など
岩手県立大野高等学校	高校・特養合同防災訓練・高齢者福祉理解研修
洋野町立大野小学校	街づくり講義・洋野町商工会とのイベント（イルミネーション・スカイランタン）
洋野町立林郷小学校	「福祉」とは／地域活性化団体とのイベント（イルミネーション・スカイランタン）
洋野町立帯島小学校	「福祉」とは／地域活性化団体とのイベント（イルミネーション・スカイランタン）
岩手県立北桜高等学校	リアルトーク「手話通訳士」／手話体験
岩手県立久慈東高等学校	専門職とのリアルトーク・大学生とのリアルトーク

宮城県

社会福祉法人ライフの学校 https://gakkou.life/

大田区立六郷小学校　バリアフリー、高齢者の暮らし　　仙台市立沖野小学校　福祉のお仕事　　東北高等学校　「福祉」とは？

新潟県

社会福祉法人みんなでいきる https://www.minna-de-ikiru.org/

上越市立高田西小学校	障害のある方の表現活動
新潟県立阿賀野高等学校	特養の仕事についてのミーティング
上越市立飯小学校	障害のある方の表現活動
上越市立稲田小学校	障害のある方の表現活動

北陸エリア

合同会社HUGKUMI https://www.hugkumi-llc.com/

Ponteとやま　ふくしってな〜に？

千葉県

社会福祉法人千楽 https://www.chiraku.com/

千葉県立四街道北高等学校　子どもや障害者の福祉と虐待／障害とは何か、発達障害を理解する
千葉県立千葉女子高等学校　子どもや障害者の虐待と支援／発達障害と地域共生

神奈川県

社会福祉法人千楽 https://www.chiraku.com/

愛川町立愛川東川中学校　障害と地域共生

社会福祉法人愛川舜寿会 https://aikawa-shunjukai.jp/

愛川町立愛川中原中学校	地域と福祉のリアル（医療的ケア児の母親（同行）事例発表）
神奈川県立厚木高等学校	地域と福祉のリアル（春日台センターセンターにて現場見学＋ゼミ形式）
神奈川県立大井高等学校	地域と福祉のリアル（若手就労支援員（同行）事例発表）
神奈川県立深沢高等学校	地域と福祉のリアル（若手介護職員（同行）事例発表）
川崎市立高津高等学校	地域と福祉のリアル（若手就労支援員事例発表）

静岡県

社会福祉法人ほなみ会　https://www.h-minamikaze.com/

自施設開催	福祉の学び体験	浜松市立芳川小学校	福祉の魅力セミナー
菊川市立岳洋中学校	福祉の魅力セミナー	磐田市立豊浜小学校	福祉の魅力セミナー
浜松市立中ノ町小学校	福祉の魅力セミナー	浜松市立新津中学校	福祉の魅力セミナー

愛知県

社会福祉法人半田市社会福祉協議会　https://handa-shakyo.com/

半田市立亀崎中学校	あなたの「ふつう」はどんな色？／当事者の話
半田市立乙川中学校	あなたの「ふつう」はどんな色？／自分らしさについて考えよう／LGBTQってな〜に？
愛知県立半田農業高等学校	LGBTQってな〜に？
半田市立半田小学校	まち歩き
半田市立さくら小学校	まち歩き
半田市立岩滑小学校	まち歩き
半田市立雁宿小学校	まち歩き

大阪府

NPO法人み･らいず2　https://me-rise.com/

河内長野市立西中学校	ちがいを知る授業	大阪府立成美高等学校	大学生の語りの授業
大阪府立箕面東高等学校	大学生の語りの授業	大阪府立東百舌鳥高等学校	大学生の語りの授業

京都府

社会福祉法人みねやま福祉会　https://www.mineyama-fukusikai.jp/

京丹後市立大宮中学校	なぜ今ごちゃまぜの福祉に取り組むのか
京都市立弥栄中学校	なぜ今ごちゃまぜの福祉に取り組むのか
京都府立宮津天橋高等学校加谷学舎	福祉とは
京都府立宮津天橋高等学校宮津学舎	福祉の仕事を志すまでの道のり
京都府立清新高等学校	福祉までの道のり

滋賀県

一般社団法人ぼくみん　https://note.com/swlab

滋賀県立安曇川高等学校	ふくしってなんだ？
立命館守山高等学校	ワガママ言っちゃダメですか？〜自分と社会のつなげ方を考える〜
湖西市立湖西中学校	ふくしと地域の話
学外での開催（TAKASHIMA BASE）	「ワガママ」な中高生選手権〜みんなのちいさな願いとまちをつなげてみよう〜

福岡県

一般社団法人まるごとスタイル

大牟田市立松原中学校	認知症絵本教室＆福祉教育	大牟田市立白川小学校	認知症絵本教室＆福祉教育
大牟田市立中友小学校	認知症絵本教室＆福祉教育	大牟田市立明治小学校	認知症絵本教室＆福祉教育
大牟田市立手鎌小学校	認知症絵本教室＆福祉教育		

長崎県

社会福祉法人南高愛隣会　https://www.airinkai.or.jp/

長崎県立口加高等学校	障がい福祉のリアル
長崎市立小島中学校	人生を豊かにする学びをひろげよう
瓊浦高等学校	芸術×福祉プログラム（瑞宝太鼓）

沖縄県

波と風と合同会社（ヒューマンライブラリー沖縄）　https://sites.google.com/view/human-library/

糸満市立西崎小学校	発達障害、世界、肌の色、LGBT
糸満市立糸満南小学校	発達障害、世界、肌の色、LGBT
沖縄県立陽明高等学校	薬物、差別

満足度

プログラム満足度

とても満足・やや満足

81.4% 学生　93.3% 教員

福祉・介護のことを
もっと知りたいと思った

73.5% 学生

関心度

プログラム実施前

32.1% 学生　70% 教員

上昇率 40.8%　上昇率 23.3%

プログラム実施後

72.9% 学生　93.3% 教員

福祉・介護施設等への
見学・体験イベントに参加してみたい

71.2% 学生

今後も機会があれば
授業で福祉教育プログラムを実施したい

98.3% 教員

参加者の声

福祉の仕事は全ての人々の幸せのために
適切に環境を整備デザインしていく仕事。

その人の言葉を一言一句そのまま聞くと
本当にリアルだった。

他人の意見を尊重する、多数が普通だと思わないことが学べた。

どんな人でも自分の個性がある。

近所の老人ホームに**少し偏見があって**近寄りづらかった今度からはご老人と話をしてみたいと思った。

目には見えない障害者もあるんだなぁと思った。

自分を受け入れて生きることが大切だと思いました。

普通の人と障がいのある人を**無意識に区別**していましたが、**「無意識の壁」をなくすことが大切**なことだと感じました。

ビジネスの視点を交えたリアルな話に圧倒されました。

生徒の質問に対する回答がかなり
生徒の心に響いているようでした。

自分本位ではなく
「それを実施すると誰がどのように幸せになるのか」
を考えるとても良い機会になりました。

何度も涙がポロポロでてくるくらい感情がゆさぶられた。

EPILOGUE

最後に…

生徒のリアルな感情を大切にすることと、もうひとつ。
授業を通じて講師が抱いたリアルな感情も、担当の先生が抱いたリアルな感情も、
ぜんぶ大切にしてほしいという想いもあります。

はじめて見たり知ったりする授業の内容に対峙した生徒たちの、
素直な反応に戸惑うことかもしれません。

その戸惑いさえも大切に、そのとき湧き出た先生ご自身の感情もぜひ受け入れながら、
なぜ生徒たちがその感情を抱いたのか、好奇心をもって掘り下げてみてください。

「わたしのリアル」は、生徒のリアルであり、講師のリアルであり、先生のリアルです。
みんながリアルな感情を楽しみながら、ともに成長できる場になれば嬉しいです。

実施までの流れ

1 お問合わせ

総合的な学習の時間や講義内などで本プログラムを導入したい方は、まずはお問合わせください。

2 日程調整・打ち合わせ

担当者が学校に訪問、またはお電話などで日程調整や授業内容の打ち合わせをします。
学校の生徒の様子を伺います。

3 ご提案

打ち合わせの内容をもとに、独自の授業の内容をご提案します。

4 実施

ご希望の日程で授業を実施します。必要に応じて、授業の成果を測るアンケートも実施します。

5 振り返り

必要に応じて、ご担当の先生との振り返りを実施します。生徒の反応や次回に向けての改善点などを議論できればと思います。

運営・お問合わせ

一般社団法人 FACE to FUKUSHI
北海道事務局（社会福祉法人ゆうゆう内 担当：世戸口）
〒061-0231 北海道石狩郡当別町六軒町70-18 fukuthink@f2f.or.jp

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION